

幸せの歌

午



迎春

2014NEN

JA宗谷南 NEW YEAR GOU

~ SEASON32 ~

年頭のご挨拶



宗谷南農業協同組合
代表理事組合長

向井地信之

2014年 謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

年頭に当り、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。皆様に於かれましては、輝かしい新年を迎えられ、心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から農協の各事業の推進に對しましては、格別なる御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成二十五年を振り返りますと、一昨年、TPP（環太平洋経済連携協定）参加反対を公約として選挙に挑み、与党となった自民党安倍政権はTPP参加を表明し、現在も交渉中であり、また交渉内容についても情報開示が極めて不十分で不透明な状況が続いております。

今後、我々農業者は、農業分野だけではなく医療・建設業など多くの分野に多大なる損失を与えかねないTPPについて参加交渉反対を訴えていかなければならないと思っております。

今年の宗谷南農協の乳量生産は、前半は一昨年的好調さを維持し前年を上回る状況で推移致し二十五年度（十二月～十一月）の出荷乳量は57,742t前年対比100%となりました。

しかし、七月出荷乳量は前年割れの状況となり農協の事業年度では、前年対比98%までに落ち込む予測をしております。

搾乳中止や離農組合員が五戸を数えたことや、一番草については、春先の降水量不足による全体的な粗飼料不足の状況に陥ったことと、二番草の収穫時期には、一変して長雨による収穫時期の遅れがあり、良質粗飼料の確保が出来なかったことが要因と思わ

れます。

当農協と致しましては、粗飼料の量的確保に早い時期より対策を取り、粗飼料が不足される組合員への対応をまいりました。

この様な状況の中、組合員のクミカン内容に於きましては、肉用牛、特に初生犢・F1の価格が高騰し、個体販売については好状況でありましたが、しかしながら、酪農家の基本であります生乳販売量が減少したことにより、十二月の決算状況は厳しく、新年度の計画樹立に於いても、厳しい状況となっております。

乳牛の健康管理を含めた飼養管理が、安定経営につながることを念頭に生乳生産増加に取り組んでいただきたいと思います。

組合事業の年度収支見込みにつきましては、概ね順調に推移していることから、今年も、期中事業割戻を実施させていただきましたが、組合員皆様の御協力はもとより系統結集と合併合理化によるものであり、年内のクミカン清算の一助になれば幸いです。

当組合は、昨年の春、3ヶ所に別かれて業務を行っておりました授精事業を振興センター内に、また生乳検査業務も合わせて統合し、農協としての業務の効率化、合理化を計ってまいりました。

今後、組合員の皆様には御不便をお掛けすることがないように配慮してまいりますので御理解、御協力をお願い致します。

懸念事項であります不採算部門については、経営改善が求められている中、合理化等を実施しながら、



解消に努めているところであります。

Aコープに於きましては、一昨年より近隣地を除き全地区で高齢者や農繁期の組合員のために稼働しております移動購買車が、皆様の御協力により順調に売り上げを伸ばしており、当初の目的が浸透されて来ていると思っております。

メカニックサービスに於きましては、厳しい状況ではございますが、人員削減等を行い、赤字の減少にむけているところで、何とか組合員皆様の御利用、御協力を仰ぎながら整備事業を継続できるような事業展開をしてまいりますので御理解を賜りたく宜しくお願い致します。

また、子会社の(株)アグリサポート枝幸は、今年中山間地域集落事業と協力のもと、新たな機械を購入し、本格稼働をしております。

規模拡大による労働力不足、高齢化による労働力の低下、機械購入による経営の圧迫等の課題に対処すべく農作業の受託を行い、組合員の生産の維持拡大、営農期間の延長、経営安定を図ることを目的として稼働致しておりますので、昨年同様御利用いただきませう宜しくお願い致します。

最後になりますが、昨年に当農協職員が不慮により尊い命を亡くされましたが、宗谷南農協の業務に御尽力を尽くしていただいただけに非常に残念であります。

ここに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心から御冥福をお祈り致します。

組合員並びに御家族様、関係各位の皆様にとって事故のない健康で豊穰の一年でありますよう心から御祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

謹賀新年



- 代表理事 組合長 向井地 信之
- 理事・総務委員長 辻 弘道
- 理事・業務委員長 小野寺 俊一
- 理事・生活店舗・整備工場運営特別委員長 小林 政夫
- 理事・総務副委員長 木村 浩
- 理事・業務副委員長 下山 勲
- 理事・生活店舗・整備工場運営特別委員長 山崎 幸夫
- 理事 兼 参事 寺前 孝義
- 理事兼金融・共済部長 清野 盛
- 代表 監事 高橋 壮治
- 監事 岡地 保
- 外 監事 平田 勝一郎
- 他 職員一同



年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会
会長

飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様方には、希望に満ちた平成二十六年の新春を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

昨年の北海道農業は、天候不順により一部地域で農作業や生育の遅れが生じ、台風や大雨等の被害にも見舞われました、そのような中、各種課題を克服しながら、一年間の営農にご尽力されたことに対して、改めて敬意を表します。

平成二十五年は、国内外ともに、まさに激動の年でありました。

TPP交渉につきましては、三月の交渉参加表明以降、交渉参加反対のもとで、関係機関・団体と連携をはかりながら、各種運動を展開致しました。かねてより懸念していたとおり、情報開示が極めて不十分な中、秘密裏に交渉が進行し、予断を許さない不透明な状況が続いておりますが、自民党並びに衆・参農林水産委員会の決議を順守し、状況によっては脱退も辞さない覚悟のもと、それぞれの国の事情に十分配慮した対応がなされるよう、政府・与党への強力な働きかけと併せ、国民世論形成に向け粘り強い運動を展開していく必要があります。

過般、政府は我が国農政の柱のひとつである米政策を大きく転換し、それに伴い各種助成金体系や経営所

得安定対策の見直し、日本型直接支払制度の創設等がなされました、短兵急な政策転換に対して、生産現場では不安と混乱が渦巻いておりますが、改めて生産現場における取組み状況を十分検証しながら、生産者が意欲と将来展望を持って経営展開ができるよう、より実効性のある仕組みを確立していくことが重要であります。

また、政府は成長戦略の実現に向けて、農業・JA改革を課題のひとつに取り上げ、産業競争力会議や規制改革会議等において関連する議論を行っております。これら規制改革の動きに関しては、農業の役割や生産現場の実態に関する基本的な認識が十分でないことに大きな原因があり、北海道のような農業専業地帯の実情やJAグループの取組み状況等を十分踏まえた議論がなされ、本道農業の持続的発展に資するような政策が確立されるよう、働きかけを強化していく必要があります。

平成二十四年十一月に開催した第二十七回JA北海道大会において、「持続可能な北海道農業の実現」と「次代を担う協同の実践」について決議致しました。平成二十六年度は実践二年目にあたりますが、時代の変化を踏まえた中で、JAグループの組織・事業機能の充実強化に向けた自らの取組みを進めつつ、一般消費者に対する情報発信を行いながら、本道農業並びにJAの強力な応援づくりを進めていくことが重要であります。

国内外の情勢がめまぐるしく変化している昨今であります。今一度足元を見つめ直し、生産者の方々はじめJAグループ関係者の意志と知恵を結集した中

で各種課題を乗り越えていくという強い信念と実行力が求められています。

現在の地域農業やJAの基盤を築いた我々の先人も、その時々時代の背景のもとで、さまざまな困難に立ち向かってきたものと存じます。

当然のことながら、JA・連合会も「組合員の営農と生活を守り向上させる」という目的を踏まえ、最大の努力を傾注していかねなければなりません。

さて、日本の「和食」がユネスコ（国際教育科学文化機関）の世界無形文化遺産に登録される見通しであるとの動きがありました、我が国の食文化の素晴らしさが世界的にも認知されたわけですが、そのことは、素材である我が国の農畜産物が評価されたといっても過言ではなく、日本の食料供給基地である北海道の果たす役割も極めて大きなものがあると存じます。

国民の命に直結する農業は、我々の先代が永きにわたり、労苦を惜しまず築き上げてきたものであり、その役割・重要性は将来にわたり、いささかも変わるものではありません。

農業は、国家百年の計に立った中で、将来にわたり引き継いでいくべき重要な産業であり文化であります。今年の干支は、午年（うまどし）です。予断を許さない情勢が続いておりますが、馬のごとく力強く、また、さっそうと駆け抜けていく気概をもって頑張りましょう。

結びになりますが、本年が天候に恵まれ実り多い年となりますよう、併せて、北海道農業並びにJAグループ北海道の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。

年頭の挨拶



宗谷南農協女性部
部長

奥出きい

新年明けましておめでとうございます。

平成二十六年の年頭にあたり一言御挨拶を申し上げます。

部員の皆様を始め、御家族の皆様には、健やかに新年をお迎えの事と思います。

昨年は豪雪と融雪の遅さ、夏には長雨など、生乳生産において基本となる良質粗飼料の収穫に大変御苦労された一年ではなかったでしょうか。

そんな中で女性部は、一昨年「アグリ王国北海道」と言うHBCテレビの番組に、漁協女性部と一緒に料理を担当したことから、お互い、第一次産業の女性部同士の交流がないのに気が付き、昨年農協上層部の御支援を頂き、海の幸と牛乳・乳製品を使った料理講習を行い、交流を深めました。

調理室の関係もあり両女性部三十名程でしたがとても和やかな時を過ごす事ができました。

また毎年行っております研修旅行ですが、昨

年は上川町に出向き道産食材を使ったレストランでランチを、日帰りで大変でしたが、新しい試みを実行する事ができ、また参加者にも好評でした。

仕事と女性部活動にと忙しい中で、趣味の時間をつくり制作した作品が秋の経営・生活・創意工夫展に、いろいろなジャンルから素晴らしい作品が出品され、さらにその中から、全道女性部大会に数点お借りして展示致しました、他の地域の作品とも引けを取らない立派な作品ばかりでした。

さて巷ではアベノミクスとやらで景気上昇中と昨年下頃より耳にしますが、この酪農業はいかなものなのでしょう、確かに子牛の値段が良かったりはしましたが、円安による輸入穀物を始め、生産資材の高騰など経営を逼迫する要因が多くあるのではないのでしょうか、そんな中で女性ならではの知恵と行動を経営に反映させ取り組んで頂きたいと思っております。

女性部活動においては昨年に引き続き一次産業女性部との交流を深め、地域の良さを見つめ直すきっかけになればと思います。

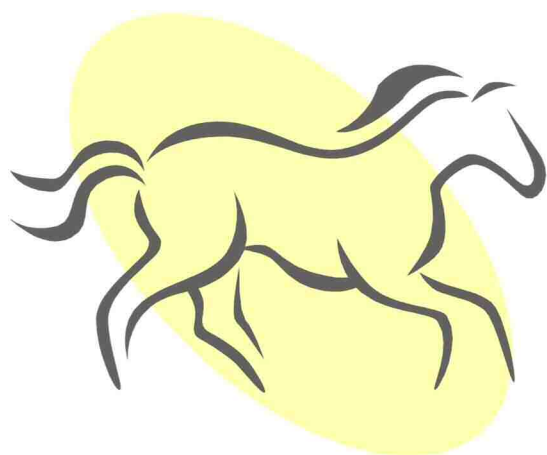
道女性部が推進する女性の正組合員や農協役員等の難問もありますが、あせらず、いそがず、機会を見つけJAと話し合っていこうと思っております。

最後になりましたがJA始め関係機関の御

指導・御協力をいただき女性部活動を行ってきたいと思っておりますので、本年も宜しくお願ひ申し上げ、組合員皆様の御健康と御活躍をお祈り申しあげ新年の御挨拶と致します。

宗谷南農協女性部

部長	奥出きい
副部長	菅原環
副部長	高橋尚美
理事	樋口幸子
理事	田中美代子
理事	真壁裕子
監事	生方 和歌子



年頭の挨拶



宗谷南農協青年部
部長

関口真也

新年明けましておめでとうございます。
年頭に当たり日頃、青年部活動に対しまして農協及び関係機関の皆さまから旧年内に賜った御支援、御指導と御協力に対し心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、一月の暴風雪、次々と発生する台風、夏の干ばつや長雨等異常気象といっても過言ではない天候を相手に悪戦苦闘した一年だったような気がします。

そんな中、政治情勢については三月に安倍総理がTPP交渉参加を表明、我々農業関係者だけではなく、日本全体に衝撃が走りました。

更に、先日の機密保護法案の成立、様々な事が刻一刻と変化していく情勢に我々酪農家はより一層注視していく必要があると日々感じています。

青年部活動に於きましては、今年度は青年部のマスコットキャラクターを制作致しました。名前もEOS放送で町内に募集したところ多数の応募があり数ある候補の中から、名称は

「みるきいちゃん」に決定致しました、これからの青年部の活動に登場していく予定です。

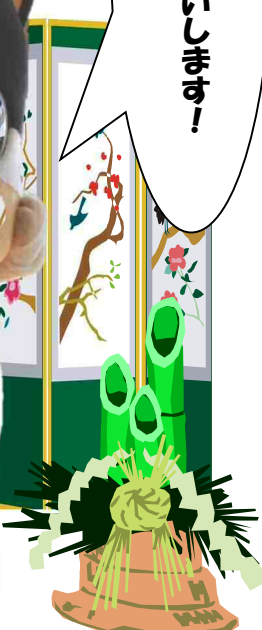
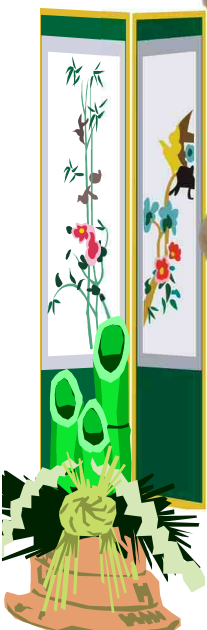
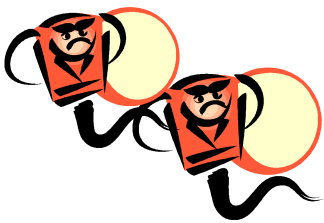
本年も様々な活動に挑戦していきたいと思っております。青年部活動にしていきたいと思っております。

最後になりますが、酪農情勢もめまぐるしく変化する大変厳しい状況ではありますが、青年部活動を通して多くの事を学び戸々の経営をより良いものとするためにも、更なる関係機関の御協力、御指導の程宜しくお願い致します。今年一年がよい年でありますように、皆様の御健勝と御多幸を御祈念して年頭の挨拶と致します。

本年も宜しくお願いします！

宗谷南農協青年部

部長	関口真也
副部长	今尚春
副部长	大塚悟
理事	森次勇治
理事	向井地善史
理事	樋口哲也
監事	松田司



謹賀新年

昨年中は大変お世話になりました。衷心よりお礼申し上げます。

今年も自己研鑽を重ねて知識と技術の向上を図ってまいります。

何とぞ、昨年と変わらぬ御支援を賜ります様お願い申し上げます。

皆様におかれましても、健康で稔り多い年であります様御祈念申し上げます。

平成 26 年 元旦



枝幸郡枝幸町南浜町 3 6 8 番地 1 7

株式会社 アグリサポート 枝 幸
代表取締役 向 井 地 信 之
外 役 職 員 一 同

組 合 長 理 事
副 組 合 長 理 事
理 事 事 事 事 事 事
理 事 事 事 事 事 事
代 表 監 事
監 事

田 辺 谷 重 信
小 林 政 夫
西 塚 勉
中 野 勤
熊 谷 昭
政 木 一 昭
安 井 大 治
岡 地 一 晃
広 田 昇 二



宗谷南酪農ヘルパー利用組合

組 合 長 小 椋 義 則
副 組 合 長 寺 前 吉 幸
理 事 下 山 勲
理 事 広 田 昇 二
理 事 内 田 喜 久 男
代 表 監 事 今 尚 春
藤 戸 澤 尚 靖
監 事 藤 山 祐 介

宗谷南乳牛検定組合

会 長 菅 原 重 信
副 会 長 菅 野 勇
副 会 長 戸 澤 礼 子
理 事 手 嶋 金 造
理 事 高 橋 正 巳
理 事 戸 澤 敏 子
理 事 石 山 義 夫



宗谷南農協年金友の会

会 長 向 井 地 信 之
副 会 長 山 崎 孝 敏
副 会 長 日 南 厚 一
監 事 中 野 隆
監 事 孫 城 智 和

宗谷南乳質改善協議会